

施策マネジメントシート(平成29年度の振り返り、総括)

作成日 平成 30 年 6 月 20 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称 総務課 課長 原澤 志利
施策	10	防犯対策の推進	関係課	観光商工課(商工振興)

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町民	①犯罪被害や消費者被害にあわない。	基本事業	1 防犯意識の高揚	町民
			2 防犯体制と施設の充実	町民	犯罪被害を防ぐことができる。
			3 消費者保護対策の推進	町民	消費者被害にあわない。
			4		
			5		

成果指標	成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	刑法犯認知件数	件	実績値	133	111	113	95	101	86	75
			目標値		130	126	122	118	114	110	
B	身近で犯罪にあう不安を感じている町民の割合	%	実績値	36.2	37.1	35.9	37.6	36.8	33.1	36.2	
			目標値		35.0	34.0	33.0	32.0	31.0	30.0	
C	過去1年間に、消費者被害を受けた町民の割合	%	実績値	9.2	8.5	9.3	9.0	7.9	8.4	7.1	
			目標値		10.0	10.0	10.0	9.0	9.0	8.0	
D	消費者被害相談件数	件	実績値	32	33	53	51	45	41	51	
			目標値		32	33	33	34	34	35	
E			実績値								
			目標値								
F			実績値								
			目標値								

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、件数が減れば犯罪被害にあっていないといえるため成果指標とした。
沼田警察署資料による※1月～12月の数値

B) 犯罪被害が増えたと、身近で犯罪にあう不安を感じている町民が増加すると考えたため成果指標とした。
町民アンケートにより把握
※身近で犯罪にあう不安を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合

C) 直接的な設問であり、件数が減れば消費者被害にあっていないといえるため成果指標とした。
町民アンケートにより把握
※過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。→「はい」と回答した人の割合

D) 消費者被害にあった町民が、被害を最小限に食い止められているかを把握することができると考えたため、成果指標とした。
※沼田市消費生活センターへ町民が相談した件数

目標値設定の考え方

A) 成り行き値は、人口の減少にともなって減少すると判断し、約3件(約2%)ずつ減少するを設定。目標では毎年度4件ずつ減少させる。【(人口10万人あたり)国平均:1,048件(H23)、県平均:666件(H23)、町:631件(H23)】

B) 刑法犯認知件数は減少する一方で、全国的に犯罪の複雑多様化が進み、高齢者や子どもが被害者となるケースが多く見受けられることなどから、短期的には変わらないと判断し、成り行きでは36.2%で推移。毎年度1%ずつ減少させ、平成29年度に30%をめざす。

C) 消費者被害は年々犯行の手口が巧妙になり、増加が予想されることから、成り行き値では平成29年度12%とした。防止対策を実施することで、目標値は平成29年度8%とした。

D) 消費者被害にあっても相談しづらいことを考えると被害件数が増えても相談件数の成り行き値は微増にとどまることが予想され、平成24年度は33件とした。本来ならば、消費者被害件数をゼロにして、相談件数もゼロになることが理想である。しかし、現実的に考えて、相談しやすい体制をつくるなどの対策を行うことで、目標値は平成29年度は35件と微増に設定した。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①地域ぐるみで防犯意識を高め、防犯活動に積極的に参加する。 ②自衛意識(防犯グッズ所持、戸締まり、危険箇所へは行かない等)をもって行動する。 ③悪質商法など、消費に関する知識を身につける。	①地域の防犯活動を支援し、防犯意識を高める。 ②警察等の関係機関と連携し、非行や犯罪の未然防止に努める。 ③消費者自身の知識の向上と相談機能を充実させ、消費者の保護を図る。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①振り込め詐欺や悪質商法、ネット関連、連れ去りなど社会的弱者に対する犯罪がますます増加する傾向にある。 ②町民アンケートによると、身近で犯罪にあう不安の具体的な内容は、平成28年度から平成29年度で下記の通り変遷している。(単位%) I 空き巣59.8→57.3 II 振り込め詐欺や悪質商法などの詐欺犯罪48.8→56.0 III インターネットなどを利用した犯罪39.5→42.1 IV 車上狙い28.2→33.7 V 連れ去りなど、子どもを狙った犯罪26.5→20.1 VI 暴行や傷害などの暴力的な犯罪16.5→17.0 VII 痴漢・ストーカー10.3→10.8 VIII ひったくり・すり9.3→9.0 IX その他 3.1→4.6	犯罪のない町になることを願っている。警察の迅速・的確・きめ細かな活動を期待している。県や市の消費生活センターがあるからか、町への消費者被害の相談はほとんどない。

施策	10	防犯対策の推進	主管課	名称	総務課
				課長	原澤 志利

		実績比較	背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①町内の刑法犯認知件数は、平成27年101件、平成28年86件、平成29年は75件と3年連続で減少した。県全体でも900件ほど刑法犯の認知件数は減っているが、車上ねらい、自動販売機ねらい、自転車盗難などは増加している。また、特殊詐欺(振り込み詐欺等)の被害は県全体で平成28年は前年比28件と増加、平成29年は253件で前年比31件とさらに増加傾向にある。 ②身近で犯罪にあう不安を感じている町民の割合は、平成28年度の33.1%から36.2%となり3.1ポイント増加した。年齢別では、50歳代が44.3%と最も高く、30歳代が41.0%と続いているが、増加割合は40歳が8.9ポイント増、50歳、60歳が7ポイント増となっている。また犯罪の種類別では、空き巣、降り込み詐欺や悪質商法などの詐欺犯罪に不安を感じている割合が高いが、年齢別では、30歳代の子どもの狙った犯罪に不安を感じている割合が急激に増加している。 ③過去1年間に消費者被害を受けた町民の割合は、平成27年度7.9%、平成28年度8.4%、平成29年度は7.1%と横ばい傾向にある。消費生活センターへの相談件数は平成28年度41件、平成29年度51件と10ポイント増加した。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①県内における刑法犯認知件数は、平成16年に戦後最悪の42,643件を記録し、その後平成29年まで13年連続減少し、現在、13,105件となっている。利根沼田管内の刑法犯認知件数については、平成29年で313件の認知件数であり、昨年と比べ73件減少している。人口1,000人あたりの刑法犯認知件数は、県6.7件、沼田市3.7件、片品村5.2件、川場村5.0件、昭和村2.8件、みなかみ町4.0件である。 ②平成29年9月の治安に関する世論調査(内閣府)によると、空き巣50.3%(51.1%)、すり・ひったくり45.5%(49.4%)、交通法令違反42.2%(45.1%)といずれも下降しているが、誘拐・連れ去り38.7%(31.3%)が7.4ポイント、詐欺50.4%(43.4%)が7ポイント上昇、ネット犯罪60.7%(42.3%)が18.4ポイント上昇、スカー行爲33.1%(24.8%)が8.3ポイントと上昇している。警察に取り締まりを望む犯罪としてはインターネットを利用した犯罪が51.2%(35.1%)と16.1ポイント上昇している。 ※()内は平成24年7月調査の数値 ③沼田市消費生活センター相談件数は、総件数416件で前年度359件から57件増加した。内訳は沼田市は311件、前年比37ポイント増、片品村11件と横ばい、川場村は12件と前年比7ポイント増、昭和村は22件と前年比6ポイント減、みなかみ町は51件で前年比10ポイント増となっている。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①刑法犯認知件数は目標値110件に対して75件となり目標を達成した。 ②不安を感じている町民の割合は目標値30%に対して36.2%となり目標値に達していない。前年実績値比でも3.1ポイント上昇し、不安を感じている割合が高くなっている。 ③消費被害を受けた町民の割合は目標値8.0%に対し7.1%と目標を達成した。 ④不安や消費者センターへの相談件数は51件で前年と比べ増加傾向にあり目標値には届かなかった。
成果実績に対するの総括	①町の防犯協会が主体となって、毎年実施している「みなかみ町秋季地域防犯パレード」を月夜野地区つきよのこども園周辺を会場とし11月に実施。町内20団体約230名が参加し防犯啓発を行った。 ②防犯協会、少年補導員、職場警察連絡協議会等と連携して、6月16日の県民防犯の日前後に合わせ(毎月16日が防犯の日)、16日にベシア月夜野店の買い物客を対象にチラシ等を配布し啓発した。 ③沼田市消費生活センターが町民の消費生活相談の窓口であり、気軽に相談できることを広報した。平成27年度は45件、平成28年度は41件、平成29年度は51件となっている。 ④防犯灯設置補助要綱に基づき、平成28年度は各地区より8件の申請があり、141,000円の補助を行った。 ⑤防犯灯の修繕費は平成29年度、5箇所462,948円。新規設置場所として、高日向区・小仁田区・水上小学校の要望により小仁田11号線に3灯の防犯灯を設置した。 ⑥防犯カメラの設置を6箇所行った。(谷川 横吹橋付近、湯原神社入口付近、湯原 長田石油付近、湯原紅葉橋付近、小日向区内、総合グラウンド公衆トイレ)町内設置箇所は計20箇所となる。 ⑦オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金詐欺などの注意喚起メールを町内全域に11回配信し、被害に遭わないよう啓発を行った。		

		基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
今後の課題と取り組み(案)	1	防犯意識の高揚	県下の刑法犯認知件数や実際の被害件数は減少傾向にあるが、特殊詐欺(振り込み詐欺等)の手口が多様化しており、住民の不安も増しているため、特に高齢者への啓発活動を課題とする。	犯罪にあわないための知識不足による不安を取り除くため、高齢者が集まる「ふれあいいきいきサロン」や各種団体の集まりで、啓発品の配布や群馬県消費生活課が実施している「防犯出前講座」の受講を推進する。広報紙等で「防犯出前講座」の開催と受講した内容を掲載して周知する。
	2	防犯体制と施設の充実	限られた予算の中で、犯罪抑止に効果的な防犯カメラを、できる限り広い範囲でカバーできる場所に設置ができるかが課題。	地域における空き巣、車上ねらい、子ども連れ去りなど、犯罪抑止につながる防犯灯、防犯カメラの効果的な設置や特殊詐欺への注意喚起メールを配信する。
	3	消費者保護対策の推進	狡猾な販売手口の被害を受けた場合の救済のための相談場所や方法についての認知が不足している。	クーリングオフなどの専門家のアドバイスを受けられる沼田市消費生活センターが、町民の消費生活相談の窓口であることを広報し、気軽に相談ができるようにする。
	4			
	5			

10 防犯対策の推進

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000001	防犯意識啓発事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	0 円				
施策体系	施策	10	防犯対策の推進		群馬県沼田警察署等からの防犯チラシ等を各世帯へ回覧のするための事務。 また、必要に応じて、防犯啓発品を購入し配布する。	県民防犯の日(6/16)に県税事務所、沼田警察署、防犯協会、少年補導員、利根商生徒会と連携して、ペインシアにおいて防犯チラシを配布した。	事業実績						
	基本事業	01	防犯意識の高揚				緊急メール配信回数						
根拠	無	組織	総務課	課長	原澤 志利	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	2	項	1	目	13	平成28年度	平成29年度	単位
	H	~									5	11	回
手口が巧妙化している上に、切り替わりが早く広報やチラシなどでは手遅れになる危険もあり、タイムリーな情報発信が求められる。											緊急一斉メールを使い、警察署との連携によりタイムリーな注意喚起を行う、		

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000002	防犯パレード事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	85,520 円				
施策体系	施策	10	防犯対策の推進		毎年10月~11月に水上小学校金管バンドの生徒演奏により、みなかみ町防犯協会の各種団体が、防犯啓発を呼びかける防犯パレード	なし	事業実績						
	基本事業	01	防犯意識の高揚				パレード参加者数						
根拠	無	組織	総務課	課長	原澤 志利	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	2	項	1	目	13	平成28年度	平成29年度	単位
	H	~									180	230	人
課題無し											なし		

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000001	防犯設備維持管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,248,894 円				
施策体系	施策	10	防犯対策の推進		町が管理する防犯灯の電気料金の支払と照明器具交換等の修繕を行うことによって、町民の安全・安心を推進する。	設置が必要かどうかの状況を確認し、防犯上必要であるとの判断がされた場合には、町管理で設置した。(3基設置)	事業実績						
	基本事業	02	防犯体制と施設の充実				修繕箇所数・設置箇所数						
根拠	無	組織	総務課	課長	原澤 志利	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	2	項	1	目	13	平成28年度	平成29年度	単位
	H	~									6・373	4・376	箇所
行政区等をまたぐ場合の防犯灯の設置費及び管理方法。											なし		

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000002	防犯灯設置費補助事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	141,000 円				
施策体系	施策	10	防犯対策の推進		行政区等が設置する防犯灯の設置費の補助(2分の1以内で新規は上限3万円、更新は1万円)	2基更新、6基の防犯灯が新設された。	事業実績						
	基本事業	02	防犯体制と施設の充実				申請数						
根拠	無	組織	総務課	課長	原澤 志利	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	2	項	1	目	13	平成28年度	平成29年度	単位
	H	~									6	8	件
防犯灯の設置は町で行うべきとの意見がある。											安全、安心な町作りのために、引き続き補助制度を継続していく。		

10 防犯対策の推進

平成 29 年 月 日作成 (平成 30 年 7 月 5 日更新)

事務事業		000001	消費生活センター運営費負担事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	816,000 円	
施策体系	施策	10	防犯対策の推進		沼田市消費生活センターに業務委託。契約や取引に関する消費者トラブルで困ったときの相談窓口を開設している。				事業実績		
	基本事業	03	消費者保護対策の推進						沼田市消費生活センター相談件数(みなかみ町分)		
根拠		無	組織	観光商工課 商工振興 G	課長	澤浦 厚子		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策	
事業期間		継続事業 H ~ 年間	会計	1	款	7	項	1	目	1	特に無し
				平成28年度	平成29年度	単位		41	51	件	

平成 29 年 月 日作成 (平成 30 年 7 月 5 日更新)

事務事業		000002	消費に関する知識普及事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	0 円	
施策体系	施策	10	防犯対策の推進		消費生活を送るうえで、身の回りに潜む危険に関する知識を蓄え、備えるために、消費に関する正しい知識を広く周知し、個人の意識啓発と消費生活の安定を図る。		県事業と連携		事業実績		
	基本事業	03	消費者保護対策の推進						消費者に関する啓発活動		
根拠		無	組織	観光商工課 商工振興 G	課長	澤浦 厚子		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策	
事業期間		継続事業 H ~ 年間	会計	1	款	7	項	1	目	1	より効果的に消費者啓発を行うためにどのような手段を講じるかが課題となる。
				平成28年度	平成29年度	単位		1	4	回	

